

## 「行革甲子園 2018」エントリーシート

### 【取組の内容】

#### 1 取組事例名

どこでも確認・低コスト IoT 小規模気象観測

#### 2 取組期間

平成 28 年度～（継続中）

#### 3 取組概要

安価な IoT 小規模気象観測装置を役場庁舎から離れた地域に設置することで、気象庁などから発表される気象情報を補う情報を知ることにより、より迅速な防災対応を行う。

#### 4 背景・目的

大雨警報などが発表されたとき、役場周辺では、全く降っていないというようなことがあります。しかし広い信濃町では、周縁部でゲリラ豪雨になっているかもしれない。さらに、周縁部の方が、土砂災害などが発生する可能性が高い。そのようなとき、今までは、その地域に住む職員や、その地域の区長さんに電話をしたり、実際に職員がパトロールに出て確認したりしていました。

何か、役場においても、リアルタイムで、周縁部の気象情報を把握することができないか。防災行政無線や電話回線などを活用するシステムも検討しましたが、初期・運用コストともに高額で厳しい財政状況では手が出ない。そんなとき、町内のオートキャンプ場を運営するNPOが、首都圏にしながら IoT 小規模気象観測装置で、キャンプ場の気象をスマートフォンなどで把握しているということを知り、さらに、初期・運用ともに安価で済むということが分かり、導入に至りました。

## 5 取組の具体的内容

- ・平成 28 年度  
Netatmo ウェザーステーション（気温、湿度、気圧、降雨量、風速）4 箇所設置  
装置が気象情報をインターネット経由で自動でサーバーに蓄積  
だれでもスマートフォン、パソコンでリアルタイムで確認可能  
データは、蓄積され、長期間の変動を確認可能  
町で設置した以外、例えば河川上流の他市町村のウェザーステーションの情報も確認可能
- ・平成 29 年度  
3 箇所増設

## 6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

設置には、電力が必要なため、消防団詰め所付近、上水道施設などに設置した。

## 7 取組の効果・費用

- ・初期費用 4 箇所分  
機器設置箇所工事費 167,400 円  
機器代金及び設置工事費（コンサルティングプログラム料を含む）627,480 円  
※機器本体代金は 70,000 円 自らセッティング可能であれば本体代金のみで設置可能  
モバイルルーター 4 台 56,999 円

- ・運用費用

通信料 972 円 / 1 台・1 月

設置により、どこでも、だれでも、リアルタイムで降雨の状況が把握できるようになり、大雨警報発表時などに職員がより迅速・的確に行動できるようになった。

## 8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

周縁部は、電波状況が比較的悪く、かつ、降雨時はその傾向が強くなるため、今年度、電話回線利用に切り替える。

## 9 今後の予定・構想

電話回線切替えにより安定した運用が可能になるので、積極的に広報し、住民や消防団員が、自分の地域や他の場所の情報を把握できるようにしていきたい。

## 10 他団体へのアドバイス

大雨警報時に実際に使ってみて、庁舎にいながら町内の降雨の状況が把握できるようになります。今年度、さらに使いやすくなる気象庁発表のメッシュ情報に併せて防災情報の収集に活用されたいかがでしょう。

## 11 取組について記載したホームページ

NETATMO

<https://www.netatmo.com/ja-JP/product/weather/weatherstation>